

CRISPR/Cas9 システムによる遺伝子改変動物作製および iPS 細胞改変作業の株式会社特殊免疫研究所の取り組み

- 日時 : 2016年11月21日(月) 16:20 ~ 17:50
- 場所 : 理学部講義棟 2番講義室
- 講師 : 株式会社 特殊免疫研究所 宇都宮事業所
戸塚義和

● 概要

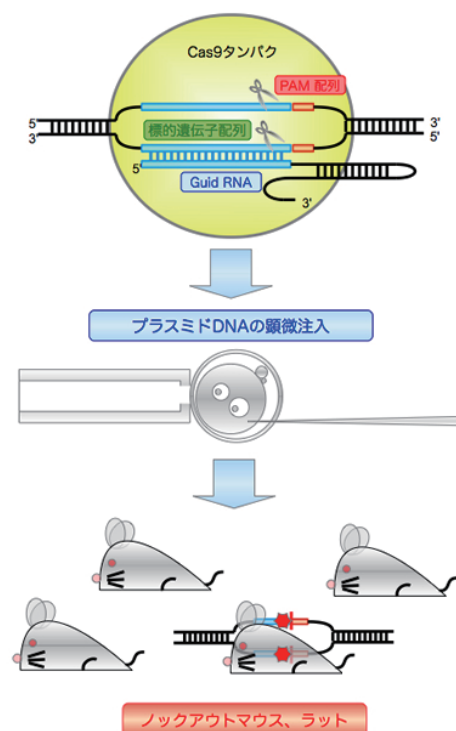
これまで遺伝子改変動物、特に遺伝子破壊動物の作製は、研究者の方々にとって大きな負担となっていたかと思えます。しかし、2013年のCRISPR/Casシステムの出現により遺伝子破壊動物は身近な研究ツールとなりました。

株式会社特殊免疫研究所では、遺伝子改変マウス、ラットの作製の受託サービスを受精卵100個単位から提供しています。

本セミナーでは、CRISPR/Casシステムの学術的な内容に加え、受託サービスの活動も紹介致します。

● CRISPR/Cas9 システムの特徴

- ① guid RNA の設計が比較的容易であるため、自由度の高いゲノム編集領域選定が可能。
- ② ES 細胞を使った従来の遺伝子改変作業より短期間で作出が可能。
- ③ マウス以外の遺伝子破壊個体の作出や第1世代で遺伝的背景が均一な遺伝子改変動物の作出が可能。
- ④ 点変異、タグなど短い配列のノックインが可能。



セミナーお申し込み : 科学分析支援センター (内5102)

セミナー担当 : 足立 (内4355)

多数のご参加をお待ちしております

※ セミナー開催の記録のために、写真を撮影させていただきます。

撮影した写真は、必要に応じて報告書等に掲載し公開されることがありますので、予めご承知おき願います。